



企業と生物多様性セミナー

第13回 「自然資本」を見据えた生物多様性の取組



日時

2014年

11月12日(水)

14時~16時

場所

東京情報大学
千葉ステーションキャンパス
(裏面地図参照)

対象

県内に工場・事業所がある企業関係者 70名 (参加無料)

主催

千葉県
一般社団法人千葉県環境保全協議会
一般社団法人千葉県経済協議会

後援

東京情報大学

申込・問合せ

事前申込制：千葉県自然保護課生物多様性センター企業セミナー担当宛に下記の必要事項を記載の上、メール又はFAXで、お申込み下さい。

締切り: 11月7日(金)(必着)

hogo10@mz.pref.chiba.lg.jp

Tel 043(265)3601

Fax 043(265)3615

事業活動において、「自然資本」が重要な資本として注目され始めており、中でも、生物資源を利用する業種では、生態系を考えた持続可能な社会の実現を図るため、種々の取組を進めています。
今回は、こうした視点から生物多様性の保全に取り組んでいる積水ハウスグループの先進的な取組について、積水ハウス㈱の佐々木正顕氏に御講演をいただきます。

セミナー内容

◆講演

「自然資本」を見据えた事業戦略の新潮流
-積水ハウスの取り組みをベースに展望を探る-

積水ハウス㈱ 環境推進部

部長 佐々木 正顕氏

※詳しくは裏面をご覧ください。

◆報告

希少種保全のための積極的アプローチ
-希少淡水魚ミヤコタナゴを例にして-

千葉県生物多様性センター

技師 鈴木 規慈

第13回 企業と生物多様性セミナー申込書

企業名		業種	
連絡先	Tel	E-mail	
参加者の所属 職・氏名	_____		

佐々木正顕(ささき まさあき)氏



積水ハウス(株) 環境推進部 部長

関西大学法学部卒業後、税理士事務所を経て1989年積水ハウス入社。総務部にて法務・株式部門担当。1996年から2年間、関西経済連合会に出向し主任研究員として都市政策・地域振興や関西広域連携を推進。1999年の環境推進部創設により現在に至る。

持続可能性を核とした環境経営の社内浸透に努める(自社は「日本環境経営大賞」環境価値創造パール大賞受賞[2010.3] 他)。農林水産省 農林水産分野の生物多様性の経済的連携のスキーム検討委員会委員等社外委員の委託を受ける他、社外講演も多数。

講演要旨

企業経営において、「ヒト」「モノ」「カネ」が主要な「資本」でありこれをどう活用するかが企業の将来を左右することに異を唱える者は居ない。しかし、今、これに加えて新たに「自然資本」「社会・関係性資本」が重要な資本として注目され始めている。この視点の下では事業における「生物多様性」の位置も「その影響を最低限にする」とこれまで「出口」に近い部分で顧みられがちであったものが、「様々な主体との経済的連携を通じた積極的な生物多様性保全を、中・長期の事業戦略にどう組み込むか」という事業戦略の「入口」に姿を現す。またこれに伴い、サプライチェーンとの関係性、消費者等とのコミュニケーションやマーケティングのあり方も当然、大きく変容しつつある。

これらのテーマと対応について、積水ハウスグループの取り組みの実例をベースに、最新の企業事例なども踏まえてできるだけ具体的にご説明させて頂きたい。

■ 会場案内図 ■

東京情報大学

千葉ステーションキャンパス

千葉市中央区新町18-10

■ 事前申込制 ■

表面下部の必要事項を記載の上、千葉県自然保護課生物多様性センター企業セミナー担当宛に、メール 又は FAXでお申し込み下さい。

締切り：11月7日(金) (必着)

Email hogo10@mz.pref.chiba.lg.jp

Fax 043(265)3615



【注】 駐車場はありません